

報道関係各位

ギブン・イメージング社、操縦可能な PillCam® カプセル内視鏡を 特集した Gastrointestinal Endoscopy 誌の論文内容を発表 - 研究者らはヒトへの治療用途の可能性に期待 -

カプセル内視鏡と消化管領域の診断ツールにおけるグローバル・リーダーであるギブン・イメージング社(NASDAQ: GIVN、イスラエル・ヨクネアム)は本日、PillCam® カプセル内視鏡の遠隔磁気操作の可能性を立証するヒトを対象とした初めての研究が、米国消化器内視鏡学会誌の『Gastrointestinal Endoscopy』誌 2010年6月号に掲載されたことを発表しました。当該研究は、ギブン・イメージング社が主導する NEMO(Nano-based capsule endoscopy with molecular imaging and optical biopsy)コンソーシアムがスポンサーとなり、英国インペリアル・カレッジ・ロンドンの Paul Swain 博士がリーダーを務めています。この研究の目的は、体外から操作する携帯型磁石の方向と動きに伴う食道および胃における PillCam® カプセル内視鏡の位置と動きを同時に記録し、その遠隔磁気操作の有用性を評価することでした。

「この研究によって2つのことが明らかになりました。ひとつは、ヒトにおいてカプセル内視鏡を遠隔操作できること。もうひとつは、その手技が無痛であることです。この試験結果は、ヒトを対象にしたさらなる臨床試験の実施の重要性を強調するものであると言えます。遠隔操作は診断精度を向上させるだけでなく、カプセル内視鏡を用いた遠隔治療の今後の開発に不可欠なものです」と、英国インペリアル・カレッジ・ロンドンの Paul Swain 博士は述べています。

研究者らは、PillCam® COLON カプセル内視鏡に希土類磁気材料を組み込み、通常の磁気スイッチをサーマルスイッチに置き換えました。カプセル内視鏡の遠隔操作にはヘラ型の外部磁石を使用し、ギブン・イメージング社の RAPID® リアルタイム ビューワーを用いてカプセル内視鏡が撮影した画像を記録しました。さらに、高解像度のビデオ内視鏡を用いて、食道内と胃内のカプセル内視鏡を観察し、また、室内用のビデオカメラを用いて、内視鏡医の手の動きにより、外部磁石の動きと食道内・胃内のカプセル内視鏡の動きが時間的に同調するシーンを撮影しました。

「ギブン・イメージング社は、カプセル内視鏡のパイオニアとして、消化管の診断だけでなく、治療的介入においても患者様にとって非侵襲的で有用性の高い新しい方法の開発に取り組んでいます。NEMO コンソーシアムとの関係は、患者ケアを改善する新しい方法の開発を目指して、産業界と医療機関との真のパートナーシップがいかに生産的に行われているかを示す好例と言えます」と、ギブン・イメージング社のホミ・シャミール社長兼最高経営責任者は述べています。

この試験は、ギブン・イメージング社の協力を得て、Richard I. Rothstein 医師と Paul Swain 博士により、米国ニューハンプシャー州レバノンのダートマス ヒッチコック メディカルセンターで実施されました。ヘラ型の携帯型外部磁石は、Frank Volke 博士の指示の下、ドイツ・ザンクトインゲベルトの IBMT(フラウンホーファー生物医学技術研究所)により提供されました。

ギブン・イメージング社について

ギブン・イメージング社は、2001年からは、PillCam[®]プラットフォームのコンセプトを基盤とした革新的で患者様に優しい先進的な消化管診断ツールを提供しています。PillCam[®] SB は小腸、PillCam[®] ESO は食道、PillCam[®] COLON は大腸の自然のままの消化管画像を提供します。PillCam[®]カプセル内視鏡は、患者様が嚥下するカプセル型の小型ビデオカメラです。ギブン・イメージング社では、他にもカプセル型製品を販売しております。PillCam[®]カプセル内視鏡が消化管を通過できるかどうか、開通性をみるための AGILE、胃食道逆流症(GERD)の pH 検査に使用する医療機器としては、カテーテルを使用しない唯一のワイヤレス 48 時間 pH 検査システムの Bravo[®]があります。ギブン・イメージング社の製品は、最先端のワイヤレス通信技術とソフトウェアを使用することにより、より正確な消化管疾患の診断を可能とし、患者様には、より適切な治療を実現することができます。全てのギブン・イメージング社の製品は低侵襲性で、かつ無拘束であり、患者様は検査中も日常生活を送ることが可能です。ギブン・イメージング社は、2010年4月に、消化管の運動機能を評価する高解像度マノメトリのパイオニアであり、消化管診断ソリューションの大手プロバイダーである Sierra Scientific Instruments 社を取得しました。これで、Sierra Scientific 社は、ギブン・イメージング社の完全子会社となりました。ギブン・イメージング社の本社、工場、研究開発施設は、イスラエルのヨクネアムにあり、アメリカ、ドイツ、フランス、日本、オーストラリア、シンガポールに子会社があります。

さらに詳しい情報が知りたい方はこちらをご覧ください。<http://www.givenimaging.com>.

日本法人 ギブン・イメージング株式会社について

ギブン・イメージング株式会社(東京都千代田区、社長:河上正三)は、世界で初めてカプセル内視鏡を開発し、現在世界のカプセル内視鏡市場において豊富な経験を持つギブン・イメージング社(Given Imaging Ltd. 2001年NASDAQ 上場)の日本法人であり、日本におけるカプセル内視鏡の製造販売会社です。

<ホームページ>

<http://www.givenimaging.co.jp>

注)日本では、PillCam[®] SB および PillCam[®] SB 2 カプセル内視鏡(小腸用)が承認されています。大腸用の PillCam[®] COLON、および PillCam[®] COLON 2、食道用の PillCam[®] ESO 2 はまだ承認されていません。